

かづの Renk

鹿角ブランドアップ戦略 プラットホーム通信

2011.7.29発行 No.1

「かづのRenk」=「かづの連携」の造語

今月のトピックス

- ・プラットフォームが見えてくる?!…《創刊のごあいさつ》
- ・動き始めた鹿角ブランドアップ…《鹿角ブランドアップ戦略レポート》
- ・毎月リレーでお届け!……《鹿角のヒト・モノ情報》
- ・ハマってしまうかもしれない……《室長コラム》

創刊にあたって

鹿角市が平成22年度策定した「鹿角ブランドアップ戦略」。これは「鹿角といえば〇〇」という“地域ブランド”の現状、実情、特性を整理して、その有効性・役割を確認したうえで、実現に向けた方策を示すために策定しました。

結論は「鹿角といえばヒト」という方策です。

素材の豊富な鹿角市において、地域性を考慮しても一つに絞込む事は困難で、豊富な素材それぞれが一層輝き、相乗的に鹿角の知名度アップにつなげるためにはそれらを進める“ヒト”、“土台”をしっかりとしたものにする必要がある、という結論に至りました。

この“土台”が“プラットフォーム”であり、ヒトやモノ、情報が相互に行き交い様々な取り組みがこれまでよりも強力に、確実に、効果的に成果となるよう位置づけられています。

このプラットフォーム通信「かづのRenk」は、これまでなかなか業種を越えて知り得なかった幅広い業種の情報を毎月レポートしてお伝えするもので、読者の皆様にできるだけ新しい気づきや発見等ワクワクするような情報をお届けしたいと思っています。どうぞ新しい出会い、きっかけづくりのためにも情報をお寄せください。宜しくお願いいたします。

鹿角ブランドアップ戦略はHPでご覧いただけます。<http://www.city.kazuno.akita.jp/> (鹿角市HP内産業・まちづくり→ブランドアップから)



【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

鹿角ブランドアップ戦略の中で策定メンバーから提案された3つのプロジェクト。その取り組みを毎月レポートします!



横手のFMスタジオを見学

コミュニティFM プロジェクト

平成25年度の開局を目指して提案されたプロジェクト。

今年度は民間のプロジェクトメンバーを中心に調査・研究、併せて運営組織の設立について検討を進めています。

5月には秋田県内のコミュニティ放送局を視察、4月に開局した横手市と開局12年を迎えた湯沢市のノウハウ等をじっくりうかがうことができました。

6月にはラジオ放送局のコンサルティング会社との面談によって具体的な手順や開局までのポイント等、一層意識と知識を高め、7月には開局準備チームを結成。

いろいろな作業をしながらでも、車の中でも情報収集できるラジオは鹿角の生活スタイルにぴったり。地域に根ざした地域のためのラジオ放送局が、プラットフォームの重要な核になりそうです。



6月の摘果作業の様子

桃花 プロジェクト

鹿角の特産品で近年、認知度が高まっている「北限の桃」。食べるだけではなくという事で桃の花や桃の関連商品等、もっと「桃の産地」らしさを様々な形で広げたい、というプロジェクトです。

今年度は民間のプロジェクトメンバーが生産者の方々やかづの農業協同組合、商品開発事業と連動、連携しながら、その方向性を検討しています。

5月には桃の花摘み、6月には摘果作業と商品化に向けた実験等を行い、さらに7月には加工業者等も加わりワークショップを開催しました。

今後も北限の桃の魅力や価値を一層高めて産地「鹿角」の活性化につなげる活動を進めていきます。



6月米粉製粉機を視察

米粉 プロジェクト

お米を取り巻く現在の危機的状況からもっとお米を食べてもらうために近年知名度が高まった「米粉」。

鹿角でも米粉を使ったスイーツやレシピの開発が盛んです。でもまだまだ気軽に使える食材ではないような・・・本来の目的を果たすためにはやはりもっと米粉が一般的で身近なものであるべきでは?また鹿角では特徴的な「淡雪こまち」の生産も盛ん。

地域内外の米の消費拡大を目的に提案されたのがこの「米粉プロジェクト」です。

現在プロジェクトメンバーとかづの商工会青年部等との連携によって進められるイベントも計画中。また既に人気が高まっている「米麺」の販路拡大、商品開発・改良等も平行して実施しながら「米粉」をキーワードに鹿角の知名度アップを図ります。

MADE in 鹿角 モノ情報

《非常用蓄電システム「ワットエイジ」》

(株)トワダソーラーが先月6月14日に発表した「ワットエイジ」は太陽光発電システム「Solar seed®」ブランドの新製品で、太陽光発電からの電力と家庭用電力の2通りの電力を蓄積できる非常用蓄電システム。



自然災害等による不測の停電、電源確保が難しい屋外等での野外活動等“いざという時も頼りになる”存在に。

世界最高水準の光電気交換効率を持つ単結晶太陽電池「Solar seed®」80W型と組み合わせて蓄電容量1,200Whの高容量鉛蓄電池に蓄えられます。また、出力電力は正弦波AC100V、連続出力180W、最大出力300W(ピーク時)を実現しています。

家庭用から小規模事業者向けに販売予定。

商品に関するお問い合わせ: (株)トワダソーラー

TEL0186-35-2010 <http://www.towada-gp.com/solar/>

PEOPLE of 鹿角 ヒト情報

～リレー方式で鹿角人(かつのびと)をご紹介します～

《かつの商工会:藤原秀比古さん、岡本和也さん、中村友紀子さん》

今年度から新たな人材育成事業の一環でかつの商工会にて日々研さんを積んでいる3人。

藤原さんは農商工観連携プロデュース事業のプロデューススタッフとして、関連する様々な情報を収集しながら、連携手法、知識を習得し、活用・応用力を養い、実践できる人材を目指して活動しています。



岡本さんと中村さんは起業教育ティーチングスタッフ育成事業のティーチングスタッフとして、起業教育を行う指導者、起業家を育成することのできる人材を目指し、事業の一環として実施する「キッズマーケット」を軸に専門知識や手法等の習得に励んでいます。

3人は今年度1年間講習・実践を繰り返しながら、来年度には実際に鹿角における農商工観連携事業、起業教育事業に取り組むことが期待されています。「農産物を加工して商品化してみたい」「観光で訪れる方々の農作業体験等のニーズに応えたい」「商品の販路拡大方法を知りたい」「起業したい」「子どもに働くという事を教える機会がほしい」といった相談に応えられる人材を目指していますので、ぜひ今後も3人の活動等にご注目ください!

【研修・助成制度等のご案内】 お気軽にご相談ください! ~連携事業への補助金制度があります~

《共に創り上げ成長したいと願う事業を応援します!~鹿角市ブランドアップ事業費補助金~》

鹿角市ではあらゆる産業間の連携により実施する地域資源のブランドアップのための事業を応援します。

①農商工観ブランドアップ事業費補助金

対象者 鹿角ブランドアップ戦略に基づく事業、または農林業事業者と商工業事業者が連携して行う革新的な商品等の研究、開発及び販売促進を行う事業者

対象経費 Ⅰ.研究開発費(専門家謝礼、原材料費、試作費、試験・分析費等)
Ⅱ.販路促進費(会場借上料、マーケティング調査費、求評会費、展示会等出展料、サンプル作成費、広報費、通信運搬費等)

採択条件 農林漁業者を含む2業種以上の事業者による組織であり、当該組織員の本拠が市内にあることなど

補助率 総事業費の1/2以内

補助限度額 300万円(特例:2,000万円)

②地域資源ブランドアップ事業費補助金

対象者 鹿角ブランドアップ戦略に基づく事業、または本市の地域資源を活用した、新規性のある新商品等の研究、開発及び販売促進を行う事業者

対象経費 ①に同じ

採択条件 鹿角市内に事業の本拠を置く事業者等

補助率 【補助率】総事業費の1/2以内

補助限度額 【補助限度額】50万



詳しくは鹿角市産業連携推進室電話0186-30-0264までお気軽にどうぞ!

400字のつぶやき

～コラム～

(財)日本サッカー協会が全国で展開している「夢の教室」が昨年度から鹿角市内全小学校の5年生を対象に行われ、今年度は更に、中学校2年生まで対象がひろげられ、既に花輪一中を皮切りに授業が始まっている。

誤解のないよう、授業内容を簡単に説明するが、決してサッカー教室ではなく、この取組みに賛同するプロスポーツ選手等様々な分

野の方が「夢先生」として教壇に立ち、「夢」を持つこと、「あきらめない」ことの大切さを教える授業である。講演会と違い、先生と生徒の関係としての授業形式で行うため、生徒も実感しながら熱心に聞いている。この授業を先日拝見してきたが、夢先生が熱く、真摯な姿で生徒へ語り継ぐ姿に触れ、不覚にも涙してしまった。今の自分はどうかと、自問しながら、そうだった、「夢」をもう一度追ってみよう、そして、子供達に語りかける「夢先生」が至る所に普通にいる、そんな鹿角にできたら…そう思った。(プラドール)※教室は自由見学可です。

【発行元】

発行 鹿角市産業連携推進室

電話 0186-30-0264

FAX 0186-30-1515

メール renk@city.kazuno.lg.jp

Twitter@KazunoRenk

Facebookページ 鹿角の【ヒト・モノ・ワザ】

一見些細と思われる情報でも誰かにとってはチャンスだったりタイミングにつながるかもしれません。ヒト・モノ・情報が行き交う場所、それがプラットフォーム。上記までドシロシご意見、情報等お寄せください。